第三千六百八十八號　（三）　大正六年十二月二十四日　THE KEIJO NIPPO

京城日報

十二月二十三日夕刊（朝夕刊併せて一部）

東露の形勢

▲過激派衰滅の兆　總ての形勢過激派に不利

さしもに横暴を極めたる哈爾賓の過激派も漸く衰滅の兆候を現はし來りたるが這は元支條約に從ひ支那軍隊が殆んど市街に充滿するに配置を了し爲めに過激派兵士の亂暴を恣にするの餘地無きと一は平素過激派の横暴に快からざる者が續々兵會を脱するに至り鐵道從業者は別に一團體を組織して過激派に當らんとし加ふるに外國側は徐々ホルワット將軍を援助する形勢を示し來り總ての形勢過激派の爲めに不利に陷りたるを以て過激派領袖リウチン氏の如きは遠からず西伯利亞奧地に退去するの已むを得ざるに至る可しと（哈爾賓電報）

▲過激派態度怯懦

哈爾賓の露國側鐵隊にて約三千に達し軍紀振肅せるが過激派の態度は支那兵に比し支那兵は非騎り事を構ふるを好まざるものゝ如く兩者間の衝突を見るが如き事は無かる可く雖愛慮す可きは東清鐵道從業員の同盟罷業なるも全然列車運轉不可能となる事は無かる可し（大連特電）

◎兩氏居常惴々焉

レーニン、トロツキー兩氏は今や危險の身に迫らん事を恐れ遂に其の居を冬宮よりネヴァ河に碇泊せる巡洋艦アブロル號に移し重要會議の際は一々軍艦より上陸して會議に列しつゝあるが之れ危機突發の際直ちに乘艦遁走せん計畫ならんと（露都電報）

◎露ク將軍不人氣

露軍總司令官クリレンコ氏は戰線に於て非常なる不評判にてドウインスクに赴きし際も其背後には護衛列車を附し戰線巡回の有樣は宛も廢帝の巡視其儘なりと（露都電報）

◎明年度豫算內示會　當路大臣と各派代表者との質問應答

二十二日首相官邸に於ける豫算內示會席上政府當路大臣と下院各派代表者との質問應答左の如し因に質問は憲政會代議士のみに依りて發せられたり（東京特電）

▲武富時敏氏　七年度豫算に對する賛否を決定する爲め六七年に亙る財政の收支計畫を明かにする必要あり又示されたる豫算綱領中に計上せる國防費は極めて不充分にして政府は更らに近く增加要求を爲すものに非ざるか、陸軍の軍團組織兵器改良要塞構築等に巨額の費用要求せらる可しと傳ふる者あり然らば今回の增税計畫にては之が充實を爲す能はざる可し要するに陸軍根本計畫の不明なる以上豫算に對する判斷に苦しむ處にして又海軍の補充計畫は將來五六年後更らに新計畫に依りて經費を要求するものには非ざるや（以下次號に譲る）

◎日進佐世保に歸港

某方面に出動中の軍艦日進は二十二日佐世保に歸港せり（佐世保電報）

◎聯絡貨物拒絕

東清鐵道の輸送困難　東清鐵道は目下の狀態聯絡貨物輸送困難なりとの理由の下に旅客の携帶する荷物の外一切引受を拒絕する旨通知し來りたるを以て滿鐵にては二十三日以後東清線聯絡貨[illegible]

◎感想は唯だ一語に盡く　總ての範を日本に―　新宮鵬上將談

奉天特電　[illegible]二十一日夜大連より來奉一泊の上二十二日午前十時四十分京奉線列車にて北京に向ふ新上將は往訪の記者に語りて曰く『道久の日本訪問に於て我等一行に對し貴國民の表されたる好意は感激に堪へず我等一行の深く感銘する處なり本月七日宮中に於て天皇陛下に拜謁を賜はり優渥なる御諚を拜したるは一行に取りて無上の光榮とする處なり、大演習に對する吾人の感想は總て之れを日本に範とす可しとの一語に盡く其の他の所感[illegible]

◎大正六年朝鮮貿易（下）　輸移出七千八百五十八萬圓＝輸移入九千六百七十餘萬圓＝前年に比し著しき增進

次に輸移出入貿易の內容に就き觀察するに輸移出に在りては一般產業就中

▲鑛業の發達　顯著なりしこと、內地工業界の繁榮に伴ふ原料品の需要旺盛なりしこと、時局の影響並に銀價の昂騰に因る對支輸出の好調なりしこと等の原因に基き叙上の著增を告げしものにして今重要品に就き之を見るに（一）農產品に於て大宗たる米は春來內地相場に比し兎角割高なりし關係上移出は前年に比し數量に於て僅少の增加に過ぎざりしも昨今兩年米價の差異より價額に於て著しく增加し同時に露國向輸移出總計に於て九百二十四萬餘圓を激增し大豆は內地に於ける需要盛なりしに際し銀高の爲め滿洲產の輸入難より

▲鮮豆の出荷　を促進したるに依り三百二十三萬餘圓の增加を示し小麥は內地製粉界の盛況により之が原料として移出好況を告げ九十七萬餘圓を棉花及び繭は近年に於ける斯業の進步に基く產額の增加と內地絲及生絲市場の活躍に因り前者百五十六萬餘圓後者百六十七萬餘圓を各增進を示せしも[illegible]蠶繭の爲め六十八萬餘圓を減じ（二）水產品にありては[illegible]の增加と一面內地に於けるロール網の減少等より需要を喚起せしに由り九十九萬餘圓を增[illegible]生產の增加と價高等により支那市場の好況の爲め三十一萬餘圓を增加し海藻類は石花菜に於て不作なると天市場の不振に由り[illegible]

▲內地機業界の　盛況に由り取引活躍を示せしため結局二十六萬餘圓の增加を告げ（三）礦產品に在りては黑鉛は土狀品が海外輸出困難の爲め不振を免れざりしも鱗狀品は內地の需要旺盛にて採掘亦激增して九十二萬餘圓を含金銀粗銅は久原製錬所事業の進展に依り百三十六萬餘圓を銅塊は從來殆んど出荷なかりしも本年は甲山銅山の經營開始せられたる結果二百九十七萬餘圓を鐵鑛は生產高の增加に由り四十萬餘圓を各增進を示せしも[illegible]び[illegible]は產地たる遂安金鑛の坑に於ける出鑛の生產減と船腹不足の爲め二十二萬餘圓を[illegible]は賃金と勞銀の騰貴等より契約高を減せしに因り十五萬餘圓を減少したり（四）其他諸品にありては紅參は生產高の漸增と支那市場に於ける

▲需要の增大　に因り六十一萬餘圓を鐵鋼材は時局の影響に依り一時不振に陷りたるも本年は斯業漸次恢復せし結果十七萬餘圓を生牛及び肥料は米價の好況に連れ內地農家の需要を增進し前者五十四萬餘圓後者三十九萬餘圓の各增加を告げ之に反し牛皮は牛價暴騰に伴ふ屠殺數の減少と內地皮革界の不況に基き百四十五萬餘圓皮革製品は軍需品の註文中絕の爲め百五十七萬餘圓の各減退を示せり今輸移出重要品に就き本年の貿易額を前年に比較表示すれば左の如し

輸移出重要品前年比較表（圓）

品名	大正六年	大正五年	增減
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（矢鍋關税課長談＝未完）

◎在支邦人の要望　＝固定資本を欲しがる＝　＝支那鐵道の經營振り＝　鐵道局長　入見次郎氏談

予は去月十七日京城を出發して奉天より吉林に到り、引返して京奉線に依りて北京を訪ひ、京漢線に依り漢口、大冶、上海、杭州、南京を經て青島に出で、大連に渡り、之れにて豫定の旅程を了りて歸來せし次第なるが、此行

▲特別の目的を有せしにあらず、予は前年歐洲に赴きし際滿洲より奉天以北の山河を車窓より眺めたるのみにて、支那本部は勿論、南滿すら奉天以南へは未だ一回も立入りしこと無かりしを以て、今回機會を得見物に出懸けたるなり、而かも何等事新らしき土產咄も無し、予が北京滯在中、內閣更迭の切迫せし由を取沙汰され、同地出發後數日、果して王內閣の成立を傳聞せしが、今更話題としては事舊りたり、湖南地方の擾亂も、予の經歷したる各地には民心を動搖せしむる程の影響を及ぼせる模樣無く、唯京漢鐵道及び津浦鐵道の沿線に多數の

▲兵を繰出せる　を見受けし位にて、之とても話の種には成らず、其代り貿易其他經濟上別段の打撃を蒙むり居らざるは喜ばしく更らに說ばしきは青島にて秋山民政長官其他朝鮮より轉任せし人々に面會せしが、何れも大元氣にて、職務に鞅掌しつゝあることなり、以上を大體の見物談として、お尋ねの支那鐵道の狀況を述べんに、支那の鐵道は延長五千哩許、其內南方に於ける線路の小部分が、私設會社の經營に屬する外は、全部國有鐵道にして、國有鐵道中、北京張家口間に敷設せる京兆線を除けば

▲悉く借款鐵道　なりと記者は、而して借款鐵道經營の責任者は、借款引受國人たること勿論なり、鐵道收入は極めて大雜把の數字ながら年々五千萬圓位ならんか、經費を差引きて約一千萬圓の餘裕ある由なれども、借款の利子を支拂へば六七百萬圓の不足を生ずるやに聞けり、然かも經營宜しきを得ば、貨物の豐富なる彼れにして於て上の收入を多くるは決して難事にあらざるべし、何しろ荷主は鐵道の貨物の上乘りを爲さざる可からざる現狀なれば其

▲經營振の如何　に大なるかは以て推察し得べし、別に予の注意を惹きたるは、在支邦人の經營的發展を援くべき金融機關の完備せざる一事なり、成程貿易業者に取りては正金其他外國爲替取扱銀行在りて少しも不便無きが如きも、戻資堅固なる經濟的地盤を築くに最も必要なる固定資本を供給するの機關無し、滿洲には既に各種工業若くは土地に對して相應放資され、尚鮮銀、東拓等は向後益々其方面に援助を與ふべきが、南方には未だ固定したる資本も又之を融通する機關も無きは

▲頗る遺憾なり　在支邦人の之を要望しつゝあるも亦無理ならぬことゝ思へり

◎湖南沿線の一瞥　勞力の移植により米產を殖すべし　美濃部鮮銀總裁の視察談

湖南沿線の視察より廿二日夜歸京せし美濃部鮮銀總裁の談片に曰く

▲飛脚的の旅　甚だ忙しい餘裕のない旅であつた十九日の朝京城を發し同夜五時群山に著く筈だつたが汽車は一時間餘を遲れて六時になつた、すぐ花月で主なる官民を招宴し、二十日は早朝から群山の銀行や埠頭や精米所を參觀し十一時四十分の汽車で裡里に向ひ裡里から全州へ六里の國道に自動車を走らし一時半全州に著、各方面を走行的に歷訪し、引返して裡里に引返し四時二十分の汽車に乘つて夜の十時木浦に乘込み、廿一日は午前六時半木浦發の列車で光州に往復、午後四時木浦に引返し、直ちに銀行や綿棉工場や精米所を視察、殆んど旅裝を解く間もなく二十二日は又午前六時半未明に木浦を出る汽車で直路歸京した、氣温は餘程京城より南部だけ暖いやうだ、群山地方は切りに降雪を見、裡里、群山間などは雪解のため、道路の著しく泥濘んでゐるのを車窓より目擊した

▲全州平野管見　上述の如く殆ど飛脚的の旅行だから之れと云つてお話しする程の事もないが、予の一瞥觀を述ぶれば、湖南の平野は豫而聞いてゐたより廣漠で又地味も肥へてゐるやうである、將來耕作法の改良による產米の增加は蓋し非常のものがありと思ふ、どうも全州平野などを汽車や自動車で縱走して横走して直感し又其の道の人から聞いた事だが、湖南平野の如きは土地の廣い割合に人口が少ない、一戶當り二町甚だしきは三四町を超ゆるものもあるらしい、水田を一戶で三町も四町も耕してゐては其の農法が疎放になり其の收穫が從つて豐かでない事は當然の話であらう、聞く所によれば全北平野反當りの收穫は玄米一石弱だと云ふ……例外として三石も四石も取る所はある……實に惜しいものだ、北海道の如き近年まで米が出來るかどうか危まれてゐた土地さへ、今では反の收穫は一石二斗位の平均になつてゐる、此の點から見ると溫暖な全北の如き、其の耕作のやり方に依りては餘程收穫の改良、施肥の改良、水利の施設と必ずやらねばならぬが、然も最も必要なのは耕作者の增加を圖り集約農法を行ふ事であらう、[illegible]に開いたが、兎に角或る地方で鮮人を全州平野などに移植する事は等閑な話ではあるまい

▲群山滯貨なし　群山では殆んど滯貨らしいものを見なかつた、何でも昨冬は値段の關係から、船車輸送力の不足やらで餘程埠頭に米の山を築いたらしいが、今年は道が悪いため奧地の出廻り幾分か阻まれてゐる氣味あり、値が高く又前途の强氣より來た農民の賣惜しみ、殊に大農場筋は貯米があるらしい、船腹も去年より餘程多い、更に米檢もいくらか出廻りを遲らせてゐるやうだ、然し米穀檢查は鮮米の聲價を高むるために極めて必要の方法であらう、二三年間はいくらか農民並に米商に苦しい狀もあらうが、よく團まれば問題はない、今日色々の聲を聞くのは過渡期に免れ難い現象である、猶群山に滯貨はないが、鮮銀のすべての數字を見ると滯貨で八釜しかつた昨年より餘程殖へてゐる、而して殘高は少ない、これ地方金融の圓滑を語り、米價の前年より上値にあるのを示してゐるもので群山の景氣は悪い方でない

▲群山と全州　群山の將來は之れを大觀すれば悲觀の必要はあるまい、乃ち全州平野の產米は前述したやうに必らず何等かの方法により非常な增加を遂げる、從て群山は其の產米の供給地たる以上、又奧地需要物資の呑吐港たる以上、相當の繁榮は繼續して行くと信ずる、全州は古い都だらうなが市區[illegible]

▲木浦管見　木浦は氣持ちのよい港だつた、奧地の棉作から米の增加で其の將來も思ふ事が出來る、而して棉は收穫もよし、値もよし、今年は出廻りも頗る盛んであつた、殊に全南は道の面積が廣いため全北より產米に多いので、[illegible]

◎組合豫算更正

京城學校組合にては二十四日午後三時豫算更正及び戶別割減免に關する件を附議すべく會議を開くこと[illegible]

◎鮮銀の記者招待

朝鮮銀行にては二十二日午後六時より花月に各新聞通信の出入記者十名を招待し忘年の宴を張りしが銀行よりは中村阿部兩局長飯泉島尾藤井各課長等接待し主客歡を盡し十時散會せり

◎鮮銀總裁夫人

美濃部鮮銀總裁夫人は令孃同伴二十二日午後九時南大門驛著列車にて入京せしが尚近く令息も來京の筈

支那の畫評論史（六）　今關天彭氏談

[illegible]

○此の時に當つて畫界では晩の李龍眠が出た。李龍眠は唐の吳道子に次ぐ名人で、[illegible]

○これから間もなく徽宗皇帝が現はれて宋畫の黃金時代となつた此の天子の大觀、宣和年代は畫界に於ける盛季の時代である。しかし此の時代は花鳥、禽魚の時代であつた、徽宗皇帝は多藝多能で書畫と云はず、詩餘と云はず、其他の香とか蹴鞠とかの總ての遊戯に通じ殊に畫道に堪能であつた、其の畫は彼の二黃と徐熙とを折衷して一新機軸を出し、是等の人々よりは一層意味を重んじて居つたのである。

○徽宗の時に畫學といふ試驗科目を設け、此試驗によつて給所の畫師を採用した、其の試驗の標準は前の人の眞似をせずして、畫いた物は、形、色、情意が描いた實物と同じやうに見ゆるのみならず、しかも筆調高簡、筆を簡略にして氣韻が高い所へ重きを置いたのである、之れは卽ち寫意の極致である。唐の吳道子が始めて古畫の習的を破つて新意を出してから、徽宗に至つて大成したのである。

○徽宗の時代は院畫の黃金時代であつた。後世、院畫を輕蔑する傾向が著しく殊に南畫の末流は、甚だしく院畫を鄙しんだが、之はみな耳學問の詰らぬ徒輩である。徽宗の御府にあつた畫の解說をした『宣和畫譜』を見ると、如何に當時の畫が畫として立派なものであるかと云ふ事が判る。而かも其れと同時に古畫の精神は全く皆無な事となつた。此の事は清初の大學者顧亭林が詳しく述べたと記憶する。

廿五日陸軍歩兵少尉御任官の李王世子垠殿下

●李王世子殿下 少尉任官の御披露

二十七八の兩日霞ヶ關離宮にて

李王世子殿下には二十五日陸軍少尉に御任官近衞歩兵第二聯隊附に補せらるゝ事に決し同時に滿二十歳に達せられ明春より公職一切の式場へ參列せらるべきを以て是れが御披露の宴をも兼ね來る二十七八の兩日霞ヶ關離宮に

▲各皇族殿下及び 重なる文武官を御招待遊ばされ一大御盛宴を張らせらるゝ筈である而して二十七日は各宮殿下、元老、寺內首相、波多野宮相外各大臣、樞密顧問官及び重なる親任官並に王世子殿下が去る明治四十一年一月御渡日ありし以來

▲特別の御縁故深き 故伊藤公の令息博邦公及び末松謙澄子等六十餘名の大夜會で之には無論東京滯在中の閔李王職長官も參列する次に二十八日は石原宮內次官以下宮內省の重なる各部等官、各宮家別當、家令、兒玉內閣書記官長外

▲朝鮮關係の重なる 人々、學習院長、中央幼年學校長、陸軍士官學校長以下二百名近くで[illegible]亦た閔長官以下參列して大午餐會を催される由元來王世子殿下には毎年鳥居坂御用邸に於て慰勞の小宴を催されたるを本年に限り畏き邊りの御召によりて特に霞ヶ關離宮を之に充てさせられたものであると承はる(東京特電)

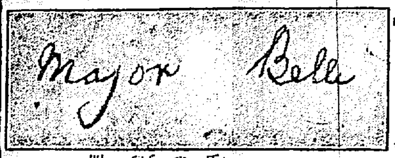
●金が平和を齎らす事は 疑問の餘地が無い

加奈陀陸軍少將ベル氏車中談

支那各地を視察して昨夜歸京したる久見鐵道局長を、開城に出迎へたる歸途、砂京が金村驛に停車中、本社からの電報を受取つた『加奈陀の陸軍少將ベル氏が、其車中に在る筈、訪ふて談話を聞け』といふのである。偖ては先刻食堂車に入つた外國人が其人に相違ないと、直ちに押かけて名刺を差出すと折から夫人及一青年と談話中なりしベル氏は『オー』と立つて手を握る、勧められるまゝに椅子に着くや否『貴下は何處から何處へ向はれるのですか』と第一問を發すると、『佛國から

▽歸國の途中 です、都合好くば東京に一兩日滯在するつもりだが、夫も便船次第で、兎に角出來る丈け早く歸國して、直ぐに復た佛國へ出かけるのです』といふ傍から夫人が引取つて『佛國から英國に渡り露國を通つて來たんです』と補つて『貴君は東京にお住ひですか』とある否京城、左樣ソールですと云へば

◎大きく點頭いて 『爾うですか、是から京城へ何分位かゝりますか……釜山へは?』



ベル氏の自署

と質問を連發さるゝ、今度は夫君が『妻は通譯で私を待合せて居たのです』と、紹介ともつかぬ説明、通譯は如何ですと問へば『いけません』と夫人は眉を顰める夫れでは

▽露國の狀態 は如何。夫君に向へば『困つたものです、何の日に秩序が恢復されるやら、私等には頓と見當がつかぬ、唯一日も早くと、希望するばかり、貴君は夫れを什う思はれる。何時露國の現狀が改善されるでせう、日本では什う觀察されてゐますか』との反問『觀察は各人各樣であらうが』と記者自身は、歐洲戰爭の終熄後

◎久しからざる中に 鎭靜に歸するであらうが、其れまでは六ケ敷からうと考へてゐる旨を告ぐれば、氏は同席の一青年を指して『此人は露國人で、同伴して米國に渡るのです』と云ひ、更に其青年に向つて露語にて何か語る、其答を聞いて『此人にも分らないそうです』青年は俛れて居る、見る目も

▽傷ましい狀 である。氣の毒な話頭を轉じて、戰況を問へば『戰爭は有利に進行してゐると答ふる外はありません、爾うです極めて有利です。而して佛國に在る加奈陀の兵數は三十萬ですが尙ほ續々と增加します……平和克復の時期ですか、之れも分りません、日本の方にも恐らく想像はつきますまい、併しながら金で勝敗を決することになるのは疑問の餘地が無い、で結果金が平和を齎らすのですね』

◆街の暮◆

■黃金町より

古道具屋は 今年は景氣が惡いと言ひ

古著屋は 今年は景氣がいゝと言ふ

埃り臭りの空ッ風が渦卷いて吹き荒む黃金町通りは光熙門行きの電車が、いかにも年の暮らしい忙がしさうな唸り聲をたてゝ疾驅して行くほかには別にけばけばしい賣出しの廣告をしてゐる店もなく師走らしい色彩は出てゐないが、この町にけ最も多い

▲古道具屋 が正月用のこまごました家具掛物什器類などを列べてゐるのが目を惹く、若草町の電車停留場の脇の古道具屋に這入つて小さな瀨戸の火鉢を抱くやうにして坐つてゐる道具屋の親父にいふやうな事から見た今年の景氣といふやうな事を聽くと水洟をかみながら『さあ

▲私共の 方は甚だ景氣が惡くつてね』と前置きをしながら話し出すのによると、世間一般の景氣と古著古道具屋の景氣とは反比例を示すのが例になつてゐる、世間の景氣のいゝ時は店を閉ぢたり、家を疊んで逃げ出したりする者が稀れであるため、隨がつて此の商賣は繁昌せぬ

▲道理で ある、それから景氣のいゝ時には第一客の方でも道具にしても著物にしても性の知れぬ古物などを買はなくても少し高くても新らしいものを使ふので古物屋は全く御用無しとなる

古道具屋に比べて多少いゝのは古著屋で下層社會の經濟狀態が非常に良いため彼等の

▲購買慾 は古著屋に轉じるので絹物を扱ふ店だの、古洋服古外套、防寒具を賣るところは相當に客を呼んでゐるさうだ。

●三菱製鐵所病院の火災

損害約三萬圓

二十三日前五時兼二浦三菱製鐵所病院より發火し百五十坪の洋館建本館及び使用器械器具は檢微鏡一臺を持ち出したるのみにて全部燒失せり損害約三萬圓の見込み原因は蒸餾室の火鉢よりなるらしく入院患者看護婦事務員等は皆無事避難せり病院は高地に在り水無く消防上甚だ困難せるも風無く附屬病室及び下方に隣接せる會社事務室の延燒を免れたるは幸なり(平壤特電)

●山中翁の重患

骨董界の著宿山中吉郎兵衞翁は昨今重患にて目下京都にて靜養中也(大阪特電)

●地下室にて二名を刺す

二十二日午後神戸地方裁判所地下室にて玉井正一(三〇)は匕首にて佐々木吾一、山口松造の兩名を刺し吾一は即死し松造は重傷を負へり孰れも無頼漢にて裁判傍聽に來り喧嘩の上の出來事なりと(神戸特電)

◇警察署から家庭へ

◎歳末に注意すること

[illegible]

先づ昨今押し詰まる歳末に當つて、何れの家庭でも、最も注意を要することは、火の用心、外出して空巣にせぬこと、盗難に對する警戒、金品を遺失せぬこと、道を歩るく時に車の類に注意すること、買物、車、興行場で懐中物を用心することなどが大切だと語つた

●明年徵兵檢査(京城)

大正七年度朝鮮に於ける徵兵身體檢査は左の如く各隊に於て行ふ事となれるが身體檢査を受けんとする者は願書に戶籍謄本又は抄本を添へ大正七年二月十日迄に二通宛己の受檢せんとする軍隊に差出すべし但し謄本又は抄本を右期日迄に差出し難き時は願書だけを差出し置き謄本又は抄本は追つて差出す事を得る由

龍山 歩兵第七十八聯隊
大田 歩兵第八十聯隊第三大隊
大邱 歩兵第八十聯隊
釜山 同 在大邱
平壤 歩兵第七十七聯隊
義州 歩兵第七十七聯隊第一大隊
元山 歩兵第七十四聯隊
咸興 歩兵第七十四聯隊
羅南 歩兵第七十三聯隊

但し釜山に於て受檢せんとする者は在大邱歩兵第八十聯隊に元山に於て受檢せんとする者は在咸興歩兵第七十四聯隊に出願すべし

●坑內に殘存せる坑夫三百八十六名は生死全く不明

桐野炭坑爆發坑道の開鑿難し

廿一日夜爆發せる福岡縣鞍手郡宮田村乙野浦に隣接せる桐野炭坑第二坑は其後瓦斯排除の作業中にて二十二日朝迄に坑外に逃れ生存し得たる者十五名あり殘り三百八十六名は生死不明なり而して直方警察署にては署長以下警察員現場に急行し鑛務所よりも技師其他馳け付けたるも坑道陷落し開鑿作業頗る困難なり但し石炭には延燒し居らざる見込にて坑口は密閉せず 家族の者は事務所前に集合し入坑者の生死を氣遣ひ泣き叫ぶ者あり慘狀を呈しつゝあり鑛業事務所の係員は東西に奔走し見舞客引きも切らず混雜を極め居れり(門司)

●白國救濟會の成績

十一月八日朝鮮ホテルに催されたる白耳義孤兒救濟音樂會は同會副會長たる持地遞信局長夫人常任幹事たる國分司法部長官夫人その他評議員諸夫人の熱心なる奔走にて成功を收めたるは既報の如くなるが當夜の收支決算の結果山本唯三郎氏の寄附にかゝる百圓及び切符賣上金三百三圓菓子賣上金三十三圓二十三錢合計四百三十六圓二十三錢の收入より讌禮その他の雜支出三十二圓二十錢を差引きたる純益金四百四圓三錢に以前同會が慈善市その他によりて得たる金五百圓を加へて九百圓となしこれに外國人側の純益六百二十七圓六十錢を一擱めとして國分夫人の手を經て此の程白耳義總領事に手渡したり

●他妻を殺さんとす

咸南元山銘石洞鄭孝則(四七)は十一年前妻鄭姓女(三七)を永興郡衛興面馬山里に殘して各地を雜貨行商し最近歸宅し見るに妻が同棲を拒むより是は同里韓聖奉の妻李聖女の入れ知慧ならんと思ひ込み十二月十六日午前六時頃小刀と金槌とを以て聖女に重傷を負はせたるため孝則は元山警察署の手に逮捕されたり

●背中で絕命

京城櫻井町一丁目今田平五郎妻つゑの妹ひでは姉の二女もと(二)を背負ひ二十一日午後四時頃勝手元にて家事の用達しをなし居れる內嬰兒の泣き聲杜切れしより大に驚きて姉つゑに見せたるに全く窒息にて死亡し居ることを發見し應急手當を加へしも遂に蘇生せざりしと同嬰兒は前に此の症狀にて度々治療を受けしことありと

●又も浮浪者狩

京城鍾路警察署にては廿一日夜又も市內巡査を以て飲食店其他を臨檢して浮浪者醜業婦等十七名を檢擧せり

●船體切斷さる

鎭南浦碇泊中の平北宣川郡李宗源所有支那型帆船順康丸(十九噸)は十二月九日午前十時頃鎭南浦に松割木九十圓を積み込み黃海道長淵郡大救面九美里に向け長淵郡大救面の海上を航行中北風に煽られて岩角に衝突し船體は中央より切斷されて沈沒し四名の乘組員は辛くも避難せり船體の損害八百八十圓積荷九十圓なり

◇燈ともし頃

通義洞の東拓社宅にある白松は朝鮮の珍木だと云ふので珍重がられて居る▲これは本年五月發行の土地調査局陸地測量部等から出た京城地圖にも其所在が明記されてある程だが▲最近支那を旅行した人の話に依ると白松などは珍木でも何でも無く北京邊りでも盆栽にして幾程でも賣つて居る▲値段も二三圓から二十圓位のもある▲白松の一本も植てなければ庭とも云へぬ程だそうな▲それ許りではなく山西省には白松ばかりの密林があるとは驚かされる▲中流生の匿名で『冬季學校の年末の終業が二十八日では高等女學校に娘を出して居る我々階級の家庭では歳末家事の手傳をさせる事も能きぬ▲種々筋道の立つた理由もある事であらうが上流階級の家庭ばかりを標準にされても我々は困る▲能きることなら技藝學校同樣二十四日位に切り上げて貰へると大に助かる』との希望の投書があつた▲政務總監邸から平南道廳に向けて鎭南浦白菜の購入方を依頼されたので廿一日優良品を選つたとのこと▲平壤鎭南浦附近では近來全鮮最良の白菜を產出しつゝあると同地方人の御自慢

●橫領罪

住所不定勞働者崔旅瀯(二〇)は本年五月頃間島龍井村廣東街[illegible]し更に八月十三日慶源郡上下面下三洞附近の道路上に於て李麗銀なる者の爲めに依託を受け所持し居[illegible]

●咸北奥地酷寒

昨今咸北奥地の寒氣は隨分酷しき由なるが此程[illegible]方面を旅行して歸來せる[illegible]歩くに五六羽を拾ふは一寸の間なりとの事なり尙ほ同地方は昨今雉子の外に獐の棲息夥だしく[illegible]

[illegible]して家族二名を拉し去り其足にて松山洞の金尙淵方に押し入り金[illegible]圓を强奪し尙も程近き金弼楠方に[illegible]二三歳より三十歳位迄の者にて何れも白又は黑の鮮服を著し居れり

●連絡船上陸客 廿二日

[illegible]いわ、同幸平、佐野乃三、立部正俊、同ふさ、同廣り、土屋きよい、吉永幽太、森山立哉、蔡政信吉、渡邊鶴信、橋本房太郎、横尾學治、竹村藤吉、豐田あい子、同秀己、山須賀かつ、柏木萬次、絡田良吉、宮田健[illegible]郎、古澤[illegible]子、[illegible]れん、上原みさを、同琉璃、長谷川保、米田家平、谷口甚五郎 三等(八十九名)

大[illegible] 晴れ (廿三日午後六時より廿四日午後六時迄)

十二月二十四日 ○日出 七時四十六分 ○日沒 五時二十二分 仁川 [illegible]

謹告
弊社は多年滿洲並東清行貨物取扱の處今般朝鮮移出入貨物の取扱を開始致候間何卒續々御用命の程奉希上候
大阪市北區曾根崎新地三丁目
(運) 日本運送株式會社大阪支店

石材値上廣告
今般協議の結果販賣價格二割値上實行可致候條此段廣告候也
京城石材採取販賣業者一同

年の餅の御注文どしどし願います
京城本町 大和軒 電話四八九番

外科花柳病 內科小兒科 婦人科
京城[illegible]町二丁目 宮崎醫院 電話三〇六八番

景品附歳暮大賣出し
ドーダカと思はるゝが如き品は弊店の店頭には一つとしてこれ非ず
旅行家は弊店製造の鞄を御購求を乞ふ
京城明治町二丁目 古賀喜鞄製造所 電話一八三三番

好評湧くが如し品切れとならぬ內御注文を
▲新年の鷲印レコード賣出し▼
(目錄進呈)

長唄 吉原雀 芳村孝次郎 杵屋新右衛門 外
新內 膝栗毛赤坂(二枚) 富士松加賀太夫 外
常磐津 乘合船(二枚) 常磐津[illegible] 外
清元 北州 清元[illegible] 外
落語 千兩富 柳家小さん
芝居噺子 十二ヶ月 中村[illegible] 田中傳左衛門 外
小唄 二上り新內 惚れて通ふ 梅は咲いたか 橘家圓[illegible]
流行小唄 大正七年 初出見よとて やつこらやのや 大阪[illegible]
▲藝術劇『生ける屍』の內 松井須磨子
唱歌 さすらいの唄 わしが好きなは 今度生れたら 合唱 藝術座 村田時子
お伽活動 凸坊コロップの卷(二枚) [illegible]
義太夫 先代萩(二枚) 竹本[illegible]
生田流箏曲 摘草 菊原檢校
都山流尺八 波通 中尾都山
[illegible] 石童生 [illegible]
鷲印兩面盤 一枚 金一圓五十錢の五十錢引賣出し
何れも鷲印兩面盤
英語が樂々と上達する
英語教育レコード(一箱六枚入) 定價金一圓二十錢
東京外國語學校教授メドレー先生 慶應義塾教授ヒューブ先生吹込
京城本町二丁目 日本蓄音器商會 電話二八三番 振替京城六八四番

內科 小兒科 村上病院
京城黃金町一丁目(商品陳列館前) 電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

白さの異ふ 新發見
歲末年始の御贈答用として好適
ホーカー白粉
三本入は美麗なる進物箱(金七十五錢 送料內地無料)
●自然らしい白さにつく
●ノリノビが一等好い
●肌の營養劑を含む
●ツヤが强く化粧崩れがしない
●洗つた後まで白くなる
●肌はアレ日ヤケを防ぐ
●匂ひ豐かに艶麗さを增す
定價 一瓶 二十五錢 送料內地無料
[illegible]の店に品切の節は[illegible]
本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店

實業行商中本年陰五月初旬頃鍾城郡鍾城邑內に於て昌俊さと謀り豫て依託を受けたる藥品數點並に蓄音機附屬品付一臺を横領五點入風呂敷包一個を横領逃走したる事件にて淸津支廳にて豫審中の所此程終結有罪と決定近く咸興法院に送致の筈（淸津）

寒氣にて鳥類の凍死するもの多く畑等の畦に宿り居る雉子は夜間の吹雪にて埋まれ其儘凍死する由にて朝鮮人は棒切を携へて之を漁り

手に手に拳銃或は洋刀を所持せる鮮人強盜七八名一團となり平北義州郡松長面の農家中雲鮮方を襲へるも合惡現金なかりし爲め人質として驛方面に向け逃走せりとの事にて二十日午前四時義州憲兵隊より安東署に通報ありたるより即時活動を開始し捜索中なり因に賊は二十

前九龍寄港入港（?）二等客
一等（十名）淸久居平吉、杉浦鶴作、長野貞原田研二、同たき、岡田義夫、美濃部緒之外家族三名
二等（四十名）佐藤治夫、同俊子、同政子、竹內嗣四郎、木島虎吉、竹下總之助、辻原小右衛門、池內安三、山科しめ、山本唯夫、山田

二十二日夜入港對馬丸 二等客
一等（一名）山縣五十雄
二等（十七名）根岸民雄、碧蘆海、鶴井貞次郎、井上多平、井上久義、劉才寀、吳耕九、王書宗、林ばつ、伊藤新次郎、松井藤三郎、上西か

おとぎばなし 不思議な名前（上）

小な百姓の娘の子が、病氣で臥てゐました。そこで天の神様は一人の天使をお傍に呼んで、下界に下りて行つて、あの小さな娘の子の前で踊を踊つて慰めてやるやうにと御命じになりました。けれどもその天使は、下界の人の前で踊を踊るのは、自分の價値を下げることだと思ひました。

すると神様はその天使の高慢な考へをお知りになつて罪をお定めになりました。で天使は人間界に生れて、そこで小さな子供――ある王家の王女――になりました。そしてよく知つてゐる天のことも自分の前世のことも、また自分の元の名前さへも悉皆忘れてしまひました。

さてその天使はそれまでは香しい名前でした。そして下界の人達は誰もさういふ名前を知つてゐるものはありません。で天使が下界の王女となりました時は、只人間のありふれた名前を附けられて、マアガレット王女と呼ばれました。だん／＼大きくなるにつれ、小さな王女は時々何となく前に知つてゐたことを思ひ出して見たいやうに考へました。けれどもそれがどんなことなのか、自分にも分りませんでした。そして王女は何にも思ひ出すことが出來ないために次第に何も彼も面白くなくなつて來ました。

ある日王女はお父様に尋ねました。

『私達はどうしてお日様の光を聞くことが出來ないんでせう。』

王様は、にこ／＼お笑ひになるばかりで、お答へになることが出來ませんでした。すると小さな王女は大層悲しさうに見えました。

またある日のこと、王女はお母様に言ひました。

『あの薔薇の花は大變好い匂が致しますが、私達、どうしてその匂を見ることが出來ないのでせう。』

お母様も、たゞお笑ひになるばかりで、お答へをなさることは出來ませんでした。王女は前よりも一層悲しく思ひました。

それから暫時經つて、王女は乳母の所に行つて言ひました。

『どうして名前は好い匂がしないのだらう。』

年老つた乳母はそれを聞いて、これも笑ふばかりで、王女が滿足するやうな答へは出來ませんでした。王女は誰も知りたいことを教へて呉れないものですから、前よりも一層悲しみました。すると王様のお姫様は、普通の人とは違つてゐて、その上お心がお弱いといふ評判が國中にひろがりました。そして誰も彼も王女を壯健にして上げる方法はないものかと、いろ／＼考へました。

王女は物靜かな、沈み勝ちな子供で、いつも不思議な變つたことばかり訊ねてゐました。そして痩せて、背ざめてゐますので、誰も王女を綺麗なお方だと思ふものはありませんでした。併しだん／＼大きくなつて、もう／＼結婚をする年頃になりました。王女に結婚を申込むために、その父王の宮殿に若い王子達が澤山やつて來ましたが、王女が物を言ひはじめると、誰もその王女を貰ひ受けたくはなくなつてしまひました。

そのうちに、マキシミリアンといふ王子がまゐりました。王女はその王子に向つて、

『私達人間には、ものが一つ／＼離れ／＼になつてゐるやうに思はれます。言葉は聞くことが出來るだけで、その匂を嗅ぐことは出來ません。又花の色を美しく見ることが出來ますが、その匂は嗅ぐことが出來ません。が、それ聞くことは出來ません。そのために世の中は單調過ぎて面白くありません。あなたはそんなには思召しませんか。』

マキシミリアン王子はそれを聞いて、

『いや、どうすればさういふ世の中が面白くなるとお思ひですか。』と王女に尋ねました。（つゞく）

◎慶北の寶庫

豐基人參と三鑛山・有望

慶北榮州郡豐基地方は由來人參の產地として知られたるが近時著しく其品質向上し既往に於て一斤五六十錢乃至七八十錢を超えたる事なき豐基人參が今年は三圓以上に騰貴し尙京城其他日本內地より陸續買收人入込み昨今の處にては何程出しても一斤の人參も見當らぬ盛況なるが右は近時一般に人參の效力が認められ從て藥用の外茶及び菓子類の加工品として需用頗る多くなりたる故にして殊に同地の人參は一面開城より以上の價格を有するとの評判もあり現に本年李王職より八十斤の御買上げありたるに徵しても明らかにして同地には京城なる牧山耕藏氏の經營に係る金鷄山及び同徐春梓氏の經營せる三衛山の兩重石鑛山ある外何れも有望なる共頗る大規模の設備を以て之を經營すべく計畫中なれば之れが實現されたる曉に於ては同地方に及ぼす經濟上の影響は實に莫大なるべく其の爲か昨今豐基地方は地價非常に昂騰し人夫賃の如きも三割乃至五割の昂上を來し爲めに農家に於ては人夫の傭入に困難を感ずる如き傾向を示し居れるが兎に角昨今に於ける豐基一圓の人氣は實に素晴らしきものあり從て同地方人士は一般に其名の如く榮州の豐基は實に慶北に於ける寶庫なりと噂し居れり

◎三菱の進出

奉天支店開設

三菱合資會社鑛山部にては既に滿蒙の大志を抱き已に技師數名を派し入れ商事部の一員を派して事務を經營せしめ居れるが來る一月よりは奉天に支店を開設し合資會社の組織を以て大々的に滿蒙鑛山開發の計畫なりと

◎南浦製煉狀況

久原・日の製煉高

鎭南浦久原製煉所にては目下一日一萬七千個內外の製煉を行ひつゝあるが本年に入りてより人夫の不足と燃料稀少の騰貴とにより側に於ける採鑛は昨年に比すれば少しからず從つて其供給も著しく減少し尙人夫の少なきと共に賃金も一層減少するに至らんと云ふ然るに製煉量は昨年より增加せるを以つて同所に於ける作業上毫も障らざる困難を來しつゝありて本年に入つてより一箇年平均金五十貫銀三百貫銅四百五十萬斤價格は一百五十萬圓に上り同所にては伊豫八阪島より含銅硫化鐵鑛を移入合金銀粗銅を製煉し日立精煉所に移出し同所に於て電氣分解に附しつゝあり同製煉所にて製煉せる粗銅は一個七貫匁にして九十八パーセントの粗銅に金六匁銀三十分を含有せり燃料は前年來の契約品を消費し居れば影響を感ぜざるも明年に至らば多少の困難を感ずるに至らんと云ふ因みに從業人員は內鮮人を合し七百餘名に達せるが物價騰貴の爲め臨時手當として內地人十四錢鮮人十錢を職工に七圓を補給し居れりと

◎京義線改築

京義線溝幫子より新民驛に到る五十哩間は稍年洪水して線路破壞し其の度每に該地方農民等は大なる損害を蒙ることあるより此度該鐵道局に對し種々抗議する處ありたるが該鐵道局に於ては鐵道自身の利益上より及び農民等の苦情に鑑み斷然線路の一部を改築することに決定し北方に軌道を敷設するの工事に着手し測量の上之れが調査を了へて任地工事の着工を見る可く實地測量の上之れが買收の共物價騰貴の現狀に際して其補償に付き共に賃付せらる可き

◎採木公司決算

近年稀なる好成績

永田採木公司理事長は去る十七日本期決算及び來年度事業打合せの爲め東上の途に就きたるが今年度事業中の事業成績の大要を聞くに本期中の活躍にて近年稀有の好成績を擧げ從來の狀態に比し本年度の事業にては八分以上の配當を見るに至るべく來年度事業としては別に目新らしき計畫あるにはあらざるも元來公司の金券は一切銀本位なりしを今回の金券統一の爲め事業上多少の困難を加へたる上與地關係を擧げ等の爲め諸種の困難を來したるものありれば更らに理事長の東上を期とし是れ等の困難を除くべく且つ附近を徹底的に擴張する等の施設をなし來りたれば附近の公司事業年と共に發展すべき趨勢にて近來公司分局其の他に事業の障害となるが如き事態ありたるも將來は地方民の部下に於ても好意的に扶助を得て滿足すべき結果を見るに至らんと云ふ

◎平壤自營苗圃

平壤府內苗圃は內務部花園の一戶のみなるが本年度成苗は櫟十萬本栗十萬本ニセアカシア二十萬本モミ五千萬本を算し苗圃面積は六町三反步にて一反步に付同樹苗は山林用として平北南北道に成苗の全道に渉れるが栗のみは內地に大部分を移出しつゝあり種は成從山東の土種なりと

◎放牧場種牛購入

京釜線成歡赤星家牧場長美代農學士は過般來種牛購入の爲め來壤中なりしが牡牛一頭牝牛三頭を購入歸場せりと

◇支那人職工

如斯悲慘な狀態である（長春）

近來長春に於いて邦人の資本乃至經營に依る會社が頓に增加した結果として支那人の下級勞働者で其のために職を得る者が漸く數を增した。元來支那の如き化學工業が發達してゐない國柄では下級勞働者と云へば殆んど特定の型を成してゐる苦力と云ふやうな部類に限られてゐるため強壯なる壯年男子は宜しいが幼年少年者で貧家に生を享けた者で必要に迫られ乍らも確定收入のある途が稀であつた、又婦女子の如きは舊習を守つて家庭以外の勞働に就く例が甚だなかつたのが上記の如く邦人の諸事業が漸く手を擴げて此の少年婦女子にも職業を與へ得るやうになつた、記者は一日此の情況を看るため如上の傾向の最も顯著な長春城內の日清燐寸株式會社の工場を見物に出かけたが、其れには午前一時頃より作業を始めると云ふので其の時刻までに同工場に行かなくてはならぬ、所が其夜は

▲零下四十一 と云ふ本冬期になつてから最低の寒天であつたゝめ家を出て二十町近くの路を辿り著いたのが丁度十二時を少し廻つたところで幸ひにも宿直の好意で赤く燒けたストーブの傍に坐らせて貰ひホッと一息ついた次第であつた、さうこうして居るうちに三々五々職工が集つて來たのを見ると妙齡の女もゐる、彼等は工賃制度になつてゐるので集まれば六七歲位の少年もゐる、集つた者は直ちに作業を始めだしたが作業の種別を分ければ製軸、箱詰の外、軸揃機械、藥附、室方、仕揚部等で各々自分の機械の前に就いて

▲熱心に働き 始めた、當工場は平屋立の細長い支那家屋で大分時代の付いた建物である上に支那人經營の發電所から配る電燈が甚だ薄暗く、云はずも知れた話だが働らいてゐる大小職工の服があくまで汚い上に時々彼方此方で奇怪な音調の鼻唄が始まる、機械の運轉する響が其れに加はつて愈々薄氣味惡い光景である、記者は一廻りした後、事務室の方へ引き返し復たストーブの傍で事務員と雜談に耽つてゐると硝子のやうに白く凍りついてゐるガラス戶の外が何時しか白んで來たが此の時刻は丁度

▲日光で温め られた土間が全く冷え切つた時であるから間斷なく燃え上るストーブも少しも利かない所に冷え／＼する、軈て低い汽笛が鳴り響くと又してもぞろ／＼職工連が寒さうに丸くなつて這入つて來る、彼等は當工場の雇ひに屬してゐて大體に於て壯年男子揃ひである、汽笛の鳴つたのは五時で此れから午後六時迄の勞働時間であつて彼等は前記の夜中一時頃から集る連中に比して遙かに高級な職人で比較的熟練した腕を持つてゐるわけである

▲生活は奈何 と見るに賃銀は夜中連中の內最年少者の賃銀は此の頃から日輪が上つて又落ちる頃迄働いて一日一吊文どころである、邦貨に換算して八錢前後と云ふから之を聞く者は誰も其の生活程度を想像せずには居られぬが一日の食費は銅錢三個乃至四個に充たすことが出來、一吊文は銅錢十箇程に當るから、諸々の身に比して彼等の親の家に起居する少年の收入と其の食費との對比を見て決して不思議はないのである、食物の種は包米（玉蜀黍）の蒸したのを本食に白菜を豆油で痛めたのに

▲鹽を投じて 汁にしたものを副食物として全く千遍一律之を繰り返してゐる、又常雇ひの職工の賃銀は云へば十三吊文とこるで即ち我が一圓に當り、食費は普通銅錢十五箇から十八箇迄位の所であるから收入と經費とを對比して立派な收入と云ふべきである、斯うして先づ彼等は支那人勞働者の一般勞働賃銀の水準から見て比較的割高な賃銀に有り付いて居る者が同日滿洲燐寸會社だけでも四百五十人近くある、其他に吉林燐寸、滿洲製粉等があるし、猶他に或は運輸會社、鑛山事業、製材事業等

▲邦人の生產 事業が組織的に經營されてゆく將來に於ては一地方支那人の生活にも漸次の變化を及ぼして、在來の如く貧民であるから主人一人働いて他家族の者は生食同樣にして其の一人にすがつて行くやうな舊式にして不自然な慣は追々失せて行くであらう等と思ひ乍ら記者は煙草のけむりを吐いて再び機械の音に耳を傾けた

左甚五郎 第百二十二席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

等伯は花の散る風情得も云はれませんが、それでも恁うして寶物と菌し事、又盡して居りまする。見比べて見て些とも違はない所から、先生是から大阪にお出になるなら御一緒に參らうぢやアありませんか、先生のやうな大した腕がおありなされば、大阪は措置いて何處へ行つても立派に遣つてゆかれます、及ばずながら私がお世話をいたしますから大阪へ一緒にお出でなさいまし　等『イヤそれは千萬忝けない、實は近來蕩串が瀰に手淵……

……一人は如何さま親方と見れば、御上手のことは判ります……〔illegible〕

……をつけて急いで歸ろとしませう、『オイ／＼見ぬわ、世の中にや然ういふ人間があるぢやアねえか、暢氣な人間があるもんだ、吉『成程、汝達のやうな奴があるものだ、○『汝達のやうな失禮なことを云ふもんぢやアねえ、その三人は密と等伯の袂へ來て覗いて居たが、○『イヤ何うも恐入つたことだ……若し／＼失禮ながら貴下は未だお若いやうですが、邦々お上手でございます　等『イヤお賞めに預つて恐入ります　○『先生は何方にお在になりますか、イヤ俺は何處と宿を定めぬ者だが、もう京も倦た故今度は大阪へでも行つて見やうかと思ふ。○『然うでございますか、俺共は何だかさつぱり判りません、なつて困つて居つた所だ、金が出來れば何より、イヤ宜い お方にお目にかゝつた、折角の御親切然らばお言葉に甘へて御同道をいたさう　○『エ、宜うございます、吉『親方の家に逗んでお在なさるが宜い、吉『汝達の見つかるまで私の家に遊んでお在なさるが宜い、つまらねえぢやアありませんか、おとなしなさい　○『默つて居ろ、汝達に何が判るものか……先生お名前は何と仰います　等『イヤ、俺は加州金澤の者だ、川等伯と云ふ者だ　○『あゝ然うでございますか、私は大阪の御城內の喜右衛門と云ふ者で、此の二人は弟子の吉に勘太と云ふ者です、等『あゝ左様か』其の日は途中で泊つて、翌日大阪長堀の其職喜右衛門の家へ遣つて參りました、喜右衛門が女房のおちかに等伯を紹介せて、當分此の先生を家へ置いて世話をするから其のつもりでと渡す、おちかも能く世話をして階に置いてくれますが、等伯は如才がない、洵に無愛想で掃除一ツしない、朝から晩まで畫ばかり描いて三度／＼酒を飲み、醉へばゴロ／＼寢てしまふ　それを見て弟子達が不平を云ひ出した　○『家の親方も物好きな人だね、あんな乞食同樣な畫工を引張り込んで、三度の膳に酒を附けて遣るが、親方の仕方が判らねえ、一生懸命に仕事をして居る俺達に少し酒を飲みてゐるといふて、酒だけは然だ汝達は滿足に仕事も出來ねえくせに、酒だけは一人前飲みやアがると小言を云ふくせに、あゝして一日のらくらして居る等伯だけには幾らでも飲ませて遣る、何ういふ譯だか親方の心地が知れねえ、けれども喜右衛門は皆な酒を厚遇いたし、種々な畫の話しなどをいたし……

御贈答用に萬人向のメリヤス類は
ⓘ鈴木支店
京城本町一 電話一八七二

毛皮なめし並に仕立
自製調進修理 鼬・貂・狐毛皮・其他 京城本町二丁目 貿易商 樽元商行 電話長一四九九番

十二月廿五日 九星 十一月十一日 辛丑 木曜 二黑 坤 除 先負
〔暦 illegible〕

歲暮贈答品
北海荒卷鮭
本場みかん
特製 なら漬樽詰
外國命季節物各種取揃申候間御用命上候
京城旭町 川西商店 電話一三六七番

陸軍拂下
寒襦袢、袴下、靴下、手袋、被服一切 並に下官品備品拂
京城府漢江通三 電話一三六 佐藤古着店

演藝案內

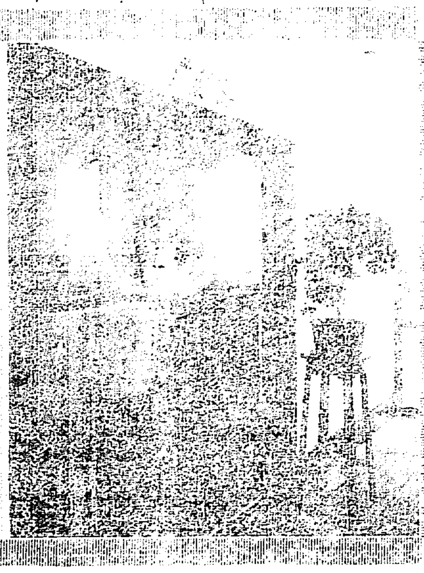
稻荷座 本町五丁目
有樂館
浪花館
黃金館
大正館
〔番組 illegible〕

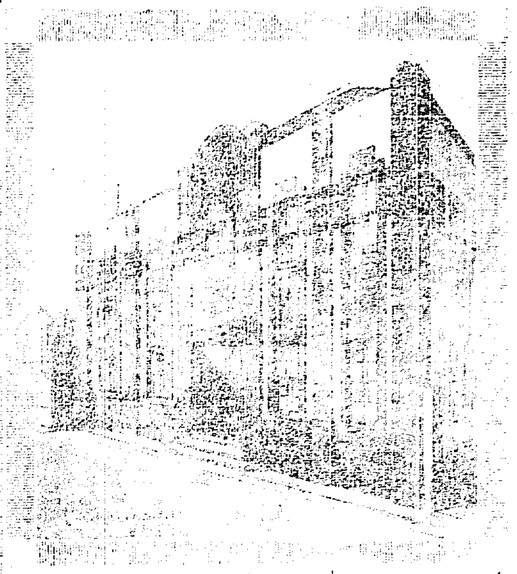
學術的に完全なる 純無鉛白粉

◀桃谷研究試驗所創製▶

美顔白粉

名擧ある美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌造
同 千葉藥學士 小磯勝次郎
同 同 藥學士 齋藤毅助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
同 醫學博士 山本淳二氏


御用品謹製室


桃谷研究試驗所の外部

初春の御料に

初春の御粧に召させ給ふ美顔化粧料各種は恒例により
謹製の上十二月十五日……を以て奉進致しました

高貴方へ奉進せる謹製化粧品 三十二種

美顔白粉　肌色美顔粉白粉
肌色美顔白粉　化粧水二號
淡紅色美顔白粉　美顔化粧水三號
美顔ユーマー　艶出し煉香油
白色美顔水　艶出し香油
淡紅色美顔水　香水
肌色美顔水　白粉おとし用クリーム
美顔水　頬紅
美顔石鹸　歯磨粉
美顔洗粉　煉歯磨
美顔クリーム　爪磨粉
純白美顔白粉　爪磨液
淡紅色美顔白粉　爪磨クリーム
肌色美顔白粉　口紅クリーム
純白美顔粉白粉　口紅液
淡紅美顔粉白粉　眉ズミ

美顔化粧料發賣元
桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目（電話本局特長一六七七番）
大阪市西區南通二丁目（電話土佐堀六四七・六八四番）
營業部＝東京市麹町區有樂町二丁目

京城日報 第五版
二十日 (朝刊夕刊併せて八頁)

▲五百七十九萬

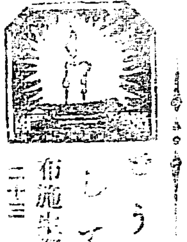
▲拂込み額減少せる

支那漫遊

絶頂の大觀

蘇峰生

南天門を上れば、勝碑あり、頂よりは迴旋して來路の絶頂は眼下にあり。登山の道路は、殆んど直下飛流の水路に、傍ひたるものにして、先づ直線と見る可く、是れ其の勾配の急なる所以を知る可し。此れより天街を稱して、十餘戸の人家あり。泰山の絶頂は二個に分る、南天門より左すれば月觀峰也。右すれば日觀峰也。日觀峰の附近なる、玉皇頂を以て、其の絶頂と稱す。予等は一氣に之に上り、顧炎武が、漢武帝の建立と考證したる無字碑を見る。而して此處にて携へ來れるビスケットを噛りつゝ、ココア湯を喫し、其の展望を逞うし、杜少陵の『齊魯青未了』の五字の、臨…て簡該精當なるを知れり。孔子が泰山に上りて、天下を小なりとしたるも、眼に泰山の高きが爲めならずんばあらず。齊魯の平原に斗起したる、此の半萬餘尺の山が、如何に其の嶽雄たるかは、問はずして知る可きのみ。蓋し泰山には幽谷なく、深林なし。全山の光景は、積石巖々の四字にて盡くす可し。十八盤附近よりは、殆んど山に一木を見ず。唯だ雑草の巖石の間に生ずるのみ。頂上を歩すれば、枯草蔓花、滿地皆な是、唯だ惜らくは登山の期後れて、可憐の秋色を、泰山の絶頂に賞する能はざりしこと、更らに日觀峰に抵る、乾隆の御碑も、半ばは磨滅せり。而して泰山に於ける、所謂る嚴瀧の類と稱す可き捨身崖は、其前にあり。今は之を愛身崖と改め、…の崖の碑を見る。高さ三丈四…大觀峰に於て、唐の玄宗の紀泰山…禁絶捨身の四字を掲ぐ。此れより…稱し、懸崖を遮る可き墻壁を設け、…



せうとして

布施米澤 二十三

東京 時事新報社發行 二大子供雑誌

新年號出來

少年

少年 大繪附録 奇想天來 空界征服双六

少女

少女 大繪附録 四韻伯の合作 名花双六

兩誌定價各十錢

全國書店

入院随意 京城西小門町二二番地(舊醫院跡)

田中丸病院

院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
普通病室隔離病室の設備あり

▲特製トンビ▲

特製トンビ 金參拾九圓也
同 乙 金參拾六圓也
同 金參拾圓也
女コート 金拾九圓也
行燈袴 金…圓也

但しコート袴は其の品切次第限り右特價販賣仕候

京城日報社代理部

野澤竹朝先生著 新刊

大劍定石

大阪屋號

婦人世界の新年號

定價 二十錢

新年大附録 婦人生ひ立ち雙六

初春の客に手輕料理

讀者の見た正月の食膳

正月着の半襟は何

現代女學生の理想 十四女學校長の觀察

良人を理想とする

娘を結婚さす迄

如此苦心て準備した祝物と披露廢止の結婚

幼女に白粉

正月を樂しむ心掛

新らしき年の初めに

小杉天外新作 長篇小説 靈鐘

令孃鞠枝の姿

斯る人相は幸福

佛蘭西女優と靜御前

早教育を授ける親の注意

調法な家庭用新發明品

薄毛を多く見せる結髪法

寒いときに温まる食物

初産の思出 五婦人の實驗談

醫者に見放された病の癒つた實例

アメリカでお産した話

紙下の結び方と子供雪帽子の作方

急に外出する時の化粧法

近頃新型の丸髷(寫眞入)

長篇小説 小松島 村井弦齋

東京京橋 實業之日本社 振替二六番

○日露秘密條約

▽露國新聞の發表

イヅウエスタ新聞は日露秘密條約全文と稱するものを發表せるが右は昨年七月三日露國外相サゾノフ氏駐露大使本野子に依り署名され第三國支那に對する行動に就き日露の共同動作を規定せるものにて有効期間五年契約國以外には絶對に秘密とすとあり條約文の冒頭に本條約は一千九百七年一千九百十年一千九百十二年の秘密條約を增補し且つ密接ならしむる爲め締結すとあり其内容の要點は

日露兩國は相互に支那に於ける利益を認容し第三國が日本或は支那に對し如何なる敵對意志を有すとも支那に於て政治上の優越權を有するに對し支那を防禦す可き要求を承認し之が爲め支那に於て斯くの如き狀態の發生を防遏す可く隔意無き協議に基き須要なる事情の下に聯合して必要なる手段を執る可く右に基き日露兩國が相互承諾の下に必要なる手段を執りたる結果第三國が日本或は露國に對し宣戰したる場合は第一回の要求に依り他の協約國は其の聯合國の援助を爲す可く日露兩國は相互の承諾無くして其共同の敵と平和を締結せざる可き事を約すと云ふにあり（紐育特電）

○過激派と激戰

カ將軍 カーレジン將軍は六日間の激戰の後十五日ロストフに進入せり此の戰鬪にて過激派の死傷千八百名を出せり（紐育特電）

○龍濟光廣東進擊

龍濟光氏は突如其手兵約五千を雷州及び高州の二地點より揚陸したり其行先は不明なるも廣東へ進擊の意嚮なるは疑ひなかる可し（東京電）

○明年度豫算內示會

當路大臣と各派代表者の質問應答（前號より）

▲大島陸相　兵器研究費は巨額ならず軍團組織は目下研究中にて何年度に要求する事となるや決定せず兵器の改良は主として大口徑砲の試驗に要する經費にて獨立軍隊の組織改正、兵力增加は目下研究中にて確定せず

▲加藤海相　海軍補充計畫は十二年度迄に完成するものなるがその後も補充の要あり右は大正十年頃豫算提出の積りなるが要求要額は十二年度以降は小額ならん

▲勝田藏相　政府の計畫は十二年度迄を見當として立てたるものにて同年度迄の國防費は今回の豫算に表はれ居るものなるが八年度以降の收支計算を示せよとの要求に對しては豫算會議の時に數字を以て具體的に說明せん

▲早速整爾氏　政府の答辯は故ら國防計畫全部の說明を避くるの嫌あり要點は陸軍は此の度の十八年計畫一億八千萬圓の外に尠くとも此の五、六年間は新たに國防費を要せざるものなりや又海軍も大正十年度迄は新たに要求せざるものなりや

▲大島陸相　今の處にては本豫算に計上したるもの丶みに止る其の他は猶研究中なり

▲加藤海相　十二年度迄は大體に於て新たに要求する考へ無きも軍艦の補充に關しては更らに要求を欲するもの多々あれば將來多少の增加を見る可きも幷は十五年度以降に計算す可きものなり

▲早速整爾氏　只今の答辯にて陸海軍共猶多少の要求あるものと推せらるゝに拘らず之に對應する財政計畫は姑息なる增稅に右の財源を得んとし今回の豫算の如き自然增收を殊に多額に見積りつゝ猶四千餘萬圓の歲入不足を告げ居れり此の點に於て財政計畫は不

▲勝田藏相　早速君は歲入に於て自然增收を殊に多額に見積りたりとて心配せらるゝも之は議會に於ける說明にて明かにす可く陸軍の計畫は目下研究中にて將來或は一大計畫を見るやも知れざるが其の時は之れに應じたる財政計畫を立つる答なり

▲町田忠治氏　增稅八千萬圓中三千萬圓は官吏の增俸なるが之等物價騰貴に依る臨時給與は將來永續する支出に非ず從て增稅に依る必要なきを以て歲出を新たにする必要なき事なり（[illegible]）

▲勝田藏相　官吏臨時[illegible]

▲勝田藏相（前承）手當は一年限り廢止す可く更に物價騰貴の傾向あらば相當施設す可く大體物價は久しからずして下落するものと認む英米の金輸出禁止に對しては適當の措置を執る可く [illegible]（東京特電）

◎初年兵入隊式

本年度歩兵第二十六聯隊第一大隊の初年兵入隊式は二十日午前九時より擧行し式後旅團長の訓示に次で軍旗祭を擧げたり尙當日は[illegible]盛大なる祝宴を擧げたり（羅南特電）

◎三井支店主任打合

三井[illegible]支店長は[illegible]東京大連安東縣の各地三井支店主任を[illegible]打合せを爲せり（[illegible]）

◎中小學校短縮案と植民地教育統一計畫

東京特電　教育會議に於て目下審議中なる學制案に就きては別に中小學科程の整理を基礎とし之に依り中學年限短縮の餘地を中小學の審議中ならしむ[illegible]ありて同時に文部省に於ては中小學校[illegible]の調査に着手して居る[illegible]議あり委員側の意嚮如何に依り直ちに形式を統一し内地教育と植民地教育との連絡に對し一段の注意を拂ひたるは當局も熱心に唱道し居れりと

分なる研究を遂げつゝあるに就き此の點に對し特に充實を期する[illegible]戰後教育の施設上植民地教育を統一し且内地教育との交通及び内地と植民地教育との聯絡を益々密接ならしむ可き要[illegible]

◎流通圓滑

郵便切手紙幣發行　郵便切手紙幣發行に係る紙幣は其發行局所の印刷は出來ない[illegible]需要に應じ近く各方面に配達されつゝあるが各地方の需要に[illegible]得べく其の需要を[illegible]狀態を見れば[illegible]不便なし又各農工銀行に於ては其の切手を取り纏めて至急[illegible]支店等に送附し其の[illegible]流通は漸次圓滑[illegible]

◎持地局長歲晚雅宴

持地遞信局長官は二十二日午後京城に於ける遞信部內の高等官二十數名を官邸に招き歲晚の雅宴を張りたるが[illegible]長官先づ

地獄一[illegible]報恩○河北秀南○來賓は進藤多紀友○滿蒙○[illegible]鉅野○竹鄕○監察○遞信旅中○將兵前田小角二首を朗吟す次で[illegible]服部江南氏筆を揮り

具は半島遞信功○內外均輸利正通○雄健羅林天地小○南滿北滿一胸中○

其れより紙を展べ帖を開いて各自揮毫を示し雅興交游裡に散會したるは因に二十四日は課局所長を招待し忘年宴を催す由

◎日露電報不通

日露間電報は去る十七日よりチタ、イルクツク間不通にて今に至るも恢復せず風說に依れば過激派に占領せられたるためならんと

◎支那見聞談　その二

內藤湖南博士講演の梗概

私は此の前に京に參りました時は革命亂の數年前で北京政府は[illegible]政治を實行して居る時でありまして新政を實行する時に就ては日本の留學生を總長に用ひらるゝ者も多く日本留學生の盛んに時の大臣の地位に登らうとか何んとか言ふ風で日本と云ふものは非常なものであると言ふものは大いに發展した、だから私達は之れなら新しい政治を實行して効能があるかと考へて居たのであります、其の翌年の宣統三年に武昌の革命が起り又其の翌年に民黨の政治を布いたのであります、が今の支那を見ますと其所に非常な變化を見出すのであります？第一北京に參りましても支那の政治と言ふものに對して大いに失望し其の大部分は全く無秩序亂脈なのであります

支那人は政治と言ふものに就ても一種の反感を抱くやうになつて居ます革命の前の二年の宣統二年に行きました時は其以前に比べて著るしく政治の樣が戻つて居るのに驚かされるが一體支那人は古から長く虐政の爲め苦しめられたもので前の上の治を得なかつたのでありますが團結を言ふやうな事には大いに缺ぐる所があるやうです或は社會的自治と言はれる方面に發達して居る事は慥かであるかも知れないけれど兎角失望せずには居られません單に政治のみならず軍隊等に於ても以前に比して著るしく惡く成つて居る今日の軍隊は滿洲朝末年に比して非常に劣つてゐる袁世凱氏は日本の軍人を招聘して其の兵の訓練を爲したもので今日は其れも無く兵隊が腫ら惡し其の訓練も勿論惡いので役に立たなくて丁度八九十年前の太平天國の亂の時に官兵が全く役に立たなくて團練と言ふ義勇兵を以て賊を平定したと言ふやうに現今に於ても其の武器も鐵砲は良いが兵の種類が惡くていけないのであります兵隊にして居る土匪が跋扈る所で兵隊にして居るのがありますが日本で訓練を受けたものであります將校は日本で訓練を受けたものでありますが日本の手を離れて仕舞ふと矢張り規律なく亂雜に陷るのであります今回は僞くに四川の諸將州で反延氏に面会する機會を得たのであります兵隊の中に這入つて見る事を得たのでありますが矢張り規律なく亂雜を免れなかつたのであります矢張り兵の種類が惡いからこそ此の[illegible]道的な行為を敢てする北方派の武力解決に訴へようと云ふ事である

○大正六年朝鮮貿易（前號承）

輸移出七千八百五十八萬圓—前年に比し著しき增進—輸移入九千六百七十餘萬圓—前年に比し[illegible]

輸移入に在りては（一）食料品に於て鮮米代用品たる外米及び滿洲粟の輸入中絕の狀態にありしが客年末以來米價暴騰の爲め本年に入り再び[illegible]

（二）起業材料品に於ては企業界の膨脹に伴ふ設備の擴張、新設又は土木建築界の盛況に依り之が材料品の入荷を激進し鐵類に百四十八萬餘圓、軌條に六十三萬餘圓、諸機械に二百五十二萬餘圓、石炭に百六十一萬餘圓、木材に四十八萬餘圓、セメントに八十五萬餘圓、煉瓦に四十萬餘圓の增加を告げ又砂糖は爆發物に四十八萬餘圓を加せしも猶り牛皮及び熟皮、皮革の不振に由り百七十萬餘圓を減退せり（四）其他諸品に於ては石油に二十九萬餘圓、紙類に四十九萬餘圓を增加したる外其他の日用品に於て各般からざる增進を示せり要するに本年の輸移入貿易に於て

▲入荷を促し　搔めに前年に比し米に六十七萬餘圓、粟に百二十一萬餘圓の入增を告げ又砂糖は市價の昂騰に拘らず需要の增進見るべきものありて三十萬餘圓を增加し（二）衣料用品に於ては綿絲布類は相場異常の奔騰を告げしも一時需要は稍不況の觀ありしも[illegible]先高見越と仲間取引の旺盛に依り入荷を促したる事情あり爲に綿絲に百五十一萬餘圓、生金巾類に二十九萬餘圓を減少したる外綿絲に百五十一萬餘圓、晒金巾類に六十九萬餘圓、天竺布に二十九萬餘圓、日本綿布に百十九萬餘圓の增加額を示し支那麻布は如上綿布の暴騰に思惑等より五十九萬餘圓を增加せしに反し絹織物は

▲戰亂に原因　せる物價の昂騰に貨物輸入上の支障等が各方面に亙り打擊を加へたるものありしに拘はらず叙上著しき增進を示せるは畢竟生產品の增加並に殷賑に伴ふ鮮人購買力の增進及び內地資本の誘導に基く事業界殷盛の反映に外ならず今輸移入重要品の貿易額を前年と比較表示すれば左の如し

輸移出重要品前年比較表（圓）

品目	大正六年	同五年	增減
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（朝鮮總督府關稅課長談）

◎平北經濟狀況

▲米價　は一般不況の[illegible]

▲新炭類　は結氷期を控へたるが爲め[illegible]

▲銀貨の關係　に因り入荷[illegible]

◎慶北道路改修　慶尙北道[illegible]

◎川上理事[illegible]　東拓理事[illegible]

三本武重氏轉居[illegible]決定せり三本武重氏は大連市[illegible]

人事消息

▲[illegible]大佐（[illegible]）[illegible]

▲本原小[illegible]長[illegible]

▲山縣[illegible]長四十分[illegible]

○臨時臨○口口口○

滋賀縣知事に任ぜられたる森田除君は花柳界に於ても決して料亭にて待合から料理屋からの鑛を頭から打掛けたる事し▲此の[illegible]

[illegible]

謹告

拙者共永年各位ノ御愛顧ヲ得幸ニ逐年盛運ニ向ヒ居リ候處尙一層斯業ノ發展ヲ期シ度今般營業全部ヲ合併シテ野田醬油株式會社ヲ設立致シ専ラ其經營ノ任ニ當ラシメ候ニ付右御了承ノ上同社ニ對シテモ倍舊ノ御愛顧賜リ度此段御禮旁謹告候也

大正六年十二月十九日

（亀甲萬）茂木佐平治
茂木七郎右衛門
高梨兵左衛門
茂木七左衛門
茂木房五郎
茂木啓三郎
野田醬油合資會社
堀切紋次郎

弊社儀今般前記八店ノ醬油釀造營業全部ヲ繼承シ大正七年一月一日ヨリ營業仕候ニ付テハ爾今一層事務ニ精勵各位多年ノ御愛顧ニ背カザラン事ヲ期シ申可ク候条何卒倍舊ノ御引立ヲ賜ハリ度奉懇願候右御披露謹告仕リ候也

大正六年十二月十九日

千葉縣野田町
野田醬油株式會社

社長　茂木七郎右衛門
常務取締役　茂木佐平治
常務取締役　茂木七左衛門
取締役　高梨兵左衛門
仝　茂木房五郎
仝　茂木啓三郎
仝　茂木勇右衛門
監査役　中野長兵衛
仝　堀切紋次郎

植民地生活廿餘年（下）

半島今日の開發進歩を見て!! 實に隔世の感以上の思ひあり

石塚東拓總裁の追想談

かく風雲穏やかならぬ内四十二年の押し詰つた極月二十四日、首相李完用氏は明治町の佛蘭西教會前にて刺客のため兇刃に刺された、それは同教會に於ける白耳義前皇帝の追悼會に臨んだ歸途である、吾輩も亦總督府を代表して列席して居た、而かも相騎んで同寺院前の石階を降つたから門前に出た後は相分れて歸途に就いた爲め

▽兇行の現狀は 目撃しなかつた

けれど爾來形勢は益々紛糾した揚句四十三年の正月、匆々容態大に重きを加へし曾禰統監は相片瀬の別莊に轉地したが、病勢は次第に重り往く許りで同じく五月三十日遂に任を辭するに至り、統監には寺内陸相之れを兼ね、副統監には山縣現政務總監の任命を見た、其の赴任に至る間吾輩は依然總務長官の事務をとり、及ばずながら内外の機務を掌理するため心血を傾けた、新統監並に副統監の着任に先立ち、帝國は六月二十四日韓國警察事務の繼承をなし、七月一日より實施したが、之れは或る意味よりすれば問題其者が併合の前提とも見らるべき重要のものであつたのだ

▽予は新統監の内命を受け微力を顧みず其の折衝を韓國内閣との間に行ひ人知れぬ苦心と辛勞をしたものだつた、七月二十三日統監の着任あり、八月二十二日寺内子と李完用首相との間に併合條約の調印あり、同二十九日之れを公布即日より施行、曠古の大業は極めて靜穏の裡に成つた事は吾輩が云ふ迄もなく世人の記憶に新たなる所である、而して十月一日朝鮮總督府の新設あり、爾來吾輩は取調局長官、農商工部長官を歴任し、昨冬官を退き東拓總裁に任ぜられた譯である、推ふに明治二十七八年の朝鮮を知り、四十年以來の朝鮮生活した吾輩は、半島今日の開發進歩を見て實に隔世の感以上の思ひあり、舊時を追想するに感慨實に淺からざるものがある

▽大正六年を發展の準備時代とし、大正七年よりは新拓法の認め範圍内に於て著々業務の範圍を擴張して行く所存である、東洋拓殖會社の前途は洋々樂觀は出來ない然し悲觀する必要は少しもないと考へる、吾輩は微力乍ら一身を犠牲とし其の重任に受けた以上專心社務の發展と進捗を念とし、微力を會社の經營に盡して行きたい、今回の東上の如き何等の希望よりも出たものでない、全く會社法の改正より來たものである…任期十年、而して近く京城を去るに付ても離別の情さも云ふべき感じの深く起らないのは、前述の如く全く朝鮮と關係を絶つのでないからと思ふが、それは更に角とし、多年公私共に御懇情を忝くした官民各位に對しては衷心より感謝の意を表する次第である（をはり）

餅搗き

李王世子殿下の爲めに 鴨獵の御催し

畏き邊りにては李王世子殿下の爲めに二十三日新濱の御獵場に於て鴨獵を御催し相成りたり殿下には小宮贊侍、高事務官、金武官、嚴侍從等を從へ午前七時三十分自動車にて御出門同九時御獵地に御着、御用掛、伊達、鍋島各主獵官の出迎を受けさせられ直ちに御小憩の後狩裝束にて各獵場に成らせられ供奉員と共に指網にて鴨獵を試みられ數羽の獲物あり正午日本館にて御料理の午餐を召し午後より再開三時過ぎ御退出御還京相成りたり（東京特電）

樂しい日を指折り數へて クリスマスが近いた=各教會の催し

世界の子供たちにとつて最も樂しい日、早くから指折り數へて待ち佗びたクリスマスも愈々目の前に迫つて來たクリスマスが濟むと

▲直きに冬休み それからお正月が來る、例年クリスマスの最も盛んに行はれる歐米諸國では未だ戰爭の最中で平時のやうにクリスマスの樂しみを味はふことが出來ない所があるかも知れぬ、それを思ふと戰爭に加はつてゐるとはいへ日本の子供はどれだけ幸福であるか知れぬ、しかも斯うして平和なクリスマスを迎へることが出來るのは基督の爲めに何よりの喜びであると同時に御威德のいや高くましまする

▲大君を戴く國 に生れた吾等が特に專有し得るところの榮ひであることも忘れてはならぬ、京城の各教會では二十四日頃からボツ/\始める、二十四日にやるのは南大門通りの日本基督教會だけであるが二十五日には長谷川町の日本基督教會、旭町のメソヂスト教會、南米倉町組合教會、龍山鐵道青年會、明治町のフランス教會などが一齊に盛んなお祭りをする、そして說教、歡迎の歌、朗讀、唱歌、暗誦、活人畫、對話等がある。

復舊は一箇月以上を要せん 桐野炭坑の今後

貝島家經營桐野炭坑第二坑瓦斯爆發に關し九州鐵道管理局特派員の報に依れば天井の墜落に依り被害の程度充分判明せざるも坑道の延長一千間中六百間迄には入坑し得るも火氣を認めず左れば空氣を通じ居れり、原因は不明なるも當時の入坑者は全員の約半數坑夫三百九十一名外役員十名計四百〇一名にして二十二日午後四時迄に收容したる屍體二十七にして三百七十四名の生死は全く不明なり同坑今後の復舊は約一箇月以上の見込なり同坑一日の出炭量は七百噸なるが今後隣坑の採掘を增加して出炭の減少を來さゞる見込なり（門司）

肺ヂストマは不治症で無い 特効藥の實驗

斯界に於ても肺ヂストマ病は不治と斷定したるには非らざるも少くとも難治の疾病たる事は斯界の論據一定し研究問題として扱はれて居たるが該病に對する特効新藥發見と共に從來の

◆問題は解決 されたる新藥鹽酸エメチンは吐根より採取せし藥品にして過般横須賀海軍病院に於て朝鮮人患者七名に對て該液の注射を行ひ根治せしむるを得たるが該藥品使用上にも多少適用の巧拙はあれども確かに該病患者の福音たる事は疑なし得るものなり、而して

◆該液發見者 は英國の大家ロージャー博士にして已に十年以前に於てアメーバ赤痢に特効ありしを漸く之れを肺ヂストマに應用したるものにして近く朝鮮斯界にも實用さるゝ事と信ず、更らに吾國に於ては肺ヂストマ研究の大家田代軍醫大監は研究資料を博士論文として提出せんとしたる程にて本年四月京都微生物學會に於て該病に對する講演を爲したるが尚特効藥鹽酸エメチンは肺ヂストマに特効あるのみならず更に九州地方に流行の住血系狀蟲病にも効験ある由（千葉）

配達時間變更

京城郵便局にては從來午前七時郵便物を配達し居つたが日晝短かい今日此の七時は未だ薄暗く京城では戶を閉めて居る者が夥いため郵便物を持參する郵便物多く不便尠からざるより最近第一號の配達は七時三十分局出發と變更し二月末まで繼續する由

四名で脅喝す 慶山署

原郡北面茂谷里孫某(二)外三名は共謀し本年四月十六日同里崔永喜(二)に對し永喜の實兄を賭博方に誘入し其人の金錢を強奪せんとしたることの論據を著せて永喜を脅迫し數回に亘り金員を騙取したることで發覺し四名は慶山分遣所に逮捕さる

漁船難破

愛知縣漁業者打瀬網漁本吉六外三名乘組み漁船は十九日午後三時頃慶尚北道迎日郡國島附近に出漁中猛烈なる暴風に出逢ひ船は轉覆して一名は行方不明となり三名は救助されたり、漁船は其位置の見込みあるを以て同地の當業者一同は一千圓内外の出資を以て救助方を申出でたり、依つて水産組合にては鯨丸を借り受け特に出動救助に向ひたり

手に負へぬ睡泥 住所不定

住所不定の啞者元英吉(二)は十二月六日横領罪にて本町署に捕はれ檢事局に送られたるも一時放還されたるに十二月十八日旭町鐵物商田某方に忍び込み洋服一揃外四點(六十圓)を窃取し尚家中を捜索中主婦の田の長女に發見取押へられ又も本町署より檢事局送り

豆滿江の結冰

吹き荒みたる兩三日間の風雪にて寒威遽かに殺到し豆滿江の全流は去る十四日に至りて凍結し氷上の交通は安全となれり昨年同江の全結氷は十二月二十一日にして本年は七日早かりしが此兩三日前の寒氣に會して凍傷患者を出し傳ふる所によれば鮮人に凍死者ありしと而して此處數日間の氣象を檢するに十一日二十六度五分、十二日二十六度、十三日二十三度六分、十四日十八度、十五日二十度八分、十六日二十三度十七日の零下最低氣溫を示したり（間島）

困つた詣師 栃木縣

栃木縣阿久津町生れ慶南馬山本町一丁目吉川旅館滯在中なりし畫家玉輝事阿久津喜山(四〇)は本年三月より七月迄の宿料七十二圓餘を踏倒して東萊溫泉に逃亡し尚馬山釜山にて旅館用の綿地を詐取し東萊にて風俗を紊すべき繪畫を描寫して密賣中を檢擧され十八日釜山地方法院の公判に附せらる

警部に化けて 平壤署

金某部なりと稱し去十四日夜平壤櫻町料亭喜樂に登樓し大言壯語し酒肴を呼ぶ鮮人洋服の男あるを平壤署の刑事が探知し引致取調べしに此者は種苗場助手韓勝烈(二)にて懐中には五十餘圓の身分不相應なる大金を所持し言語曖昧の節

御歳暮御贈答品には是非
吳服券
京城 釜山 大邱 元山 晉州
三中井吳服店

小學校の暖爐に 安全な設備を施したい 某教育家語る

龍山小學校尋常科三年生佐藤靖が教室備付のストーヴにて燒死を遂げ子を持つ親は何れも悸鼻に衝たれ汗未だ乾かざるに又もや新義州普通學校一年生金考が暖爐にて大火傷を受け慘死した爲め

◆獨り教育界 のみならず保護者は何れも看過し難き社會問題なりとて昨今一般の注目を惹きつゝ有るが不詳事發生した龍山小學校に於ては其後如何なる處置を執りつゝ有るやと聞くに同校訓導片岡喜三郎氏曰く『あの事があつて以來學校では大いに警戒して暖爐は當番の職員が出勤した後焚付け職員はストーブ焚付中擔任教室にあつて常に

◆兒童の看護 をなし若し教室を出る必要のある場合は兒童をして絕對にストーブに近づけさせぬ樣に致して居ります一二年の教室備附のストーブの周圍には〆繩が張つてありますが三年以上のストーブには二尺計り離して線を作つて操行の惡い生徒は嚴戒を與へ成る可く近づけない程に嚴重に取締つて居ります又ストーブの轉倒を防ぐ爲めには釘にて設備を加へ煖爐器は

◆職員以外に 上下させしめない事にしてありますから今後は絕對に間違はないだらうと思ひます』と、又某教育家曰く『暖爐使用中職員は一寸も油斷は出來ない事に注意して居らねばならぬ今の氣候は寒氣も嚴しく一個のストーブを備付けてあるのみでは到底寒氣は凌ぎ得ず況んや

◆六十名以上 も收容する教室で一個のストーブの周圍に群がらせて置かうとするから兒童の疲勞もさることながら此の事故も發生せないのである、到底學校ではストーブの周圍に金網を張る程の貧弱な狀態にあるさうであるから困まつて居る樣である

◆昨年冬期も 京城市内某普通學校に同樣の不祥事が發生してストーブ使用上に一大警告を與へられたにも拘らず僅か數日中に二名の兒童を慘死せしめた如きは返すく\も遺憾の極みと言はねばなるまい此れが應急策として經費の關係上學校が何等の設備も施し得ないとしたならば止むを得ないが此際篤志家の手に依るか學校組合員全體が特に經費を更に負擔するかして

◆何等の設備 を施すが出來たならば保護者をして安心して其子弟を登校せしめ得ると共に幾千の兒童の生命を保護する事が出來るのである』

年末の贈答品にも正月のお仕度にも
實用品で萬人向きのする
㊞秩父銘仙に
おきめ遊ばせ
贈つて安心！
贈られて喜ぶ！
どこの御家庭でも
大歡迎!!!
只今きばつで面白い半額割戻し賣出しの外格安品澤山參りました
京城本町
ちやうじや
電話八九〇番

▲木材 は結氷間際工事の整手切迫し……
▲奥地上流地方 は……
▲鑛業 は結氷間際……
……期を利用して各等外道路の改修に著手し……
京城女子高等普通學校移轉……

京日案内

普通一回前金（一行）五十錢　一番外

▲金融 月收の方に極秘信用貸附 御來談あれ 京城本町五（電車終點） 大和屋質店 193

▲見習看護婦至急入用 希望者は本人直接來談ありたし 京城旭町二丁目 島崎病院 190

看護婦入用 希望者は至急來談あれ 仁川 佐本病院 191

看護婦入用 經驗を有する者希望 京城本町二丁目 京城病院 電七四二

餅あん賣出し 京城若草町 京城菓子商 電話九五一番 192

商品切手 利便に付賣買候 京城永樂町二丁目五番地 丸五商會 電話一四九八番 172

醫師雇入度し 有力者は履歷書持參又は郵送あれ 永樂町二丁目陣列館前 村上病院 189

法人登記公告 水原地方金融組合 大正六年拾貳月拾七日業務… 京城地方法院 水原支廳

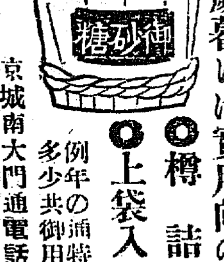
品質本意の菓子
△カステーラ
△三色羊羹
△葡萄飴
△生菓子
△勅題菓子
輕便御菓子切手
景品券進呈
京城本町二丁目
永田亭
電話八六五番

最新刊

書名	著者	定價
繪本稗史小說 第二集		三八〇
漱石俳句集	夏目漱石	一〇〇
小說 人之心	稻岡正文	一〇〇
夢と六月	久馬奏三	一四〇
結婚論	野上豐一郎譯	七〇
死ね人	クルイジナノムスカヤ作 山田枯柳譯	六〇
現代の男女へ	平塚明子	一四〇
戀と死	ヘチエ作 後藤末雄譯	六五
山水小記	田山花袋	一一〇
第十一回美術展覽會傑作畫集		七〇
通俗倫理談 縮刷	坪内逍遙	一〇〇
大斜定石法 府下今名家大斜翁戰	野澤竹朝	一八〇
新渡航法	永田稠	一〇〇
最近移殖民研究	日本移民協會	一四〇
歐洲の眞相	長瀬鳳輔	一八〇
英國戰時の努力		一〇〇
自然科學運命之研究	武市雄圖馬	一八〇
大奥の女中		一二〇

大阪屋號書店

お歳暮には實用向の御進物は
◎樽詰 ◎箱詰
◎上袋入 ◎砂糖切手
例年の通特別大勉强仕候間多少共御用命奉希上候
京城南大門通電話一五〇七番
㊤上田商店
砂糖・麥粉・製藥原料・ミツワキヤラメル販賣元



歳暮良好の贈答品は 鳥屋發賣の
鳥屋特製 都奈良漬 五色詰合 自四十錢至三圓五十錢
岐阜名産 守口漬 樽詰各種 自四十錢至二圓五十錢
靜岡名産 山葵漬 樽詰各種 自四十錢至二圓也
京都名産 蕪千枚漬 樽詰各種 自五十錢至二圓也
鳥屋別製 都味噌 正味五貫入 二圓五十錢
鳥屋吟醸 醬油 自二圓五十錢至四圓五十錢
に限る
○市内信用ある食料雜貨店にて販賣す最寄の御店で御買求め下さい近來粗惡の模造品が多數あります故御買上の際は鳥屋製と御指定下さい
○御用命の際は電話九〇三番二二三〇番へ御掛け下さい
京城北米倉町
鳥屋本店販賣部
振替口座京城五七番

美味 滋養 純粹 葡萄酒
赤玉ポートワイン
●類似品あり赤玉印に御注意！
「朝夕の一杯は百藥に優る」とは赤玉ポートワインの格言である、美味で滋養の本品は健胃、補血、與奮、強壯、の效驗著にして完全に其の目的を達する葡萄酒にして今や大醫方の薬局にて滋養強壯劑として採用されつゝあり
輸入本店
七大醫學博士の賞讚と證明を有す

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百五回

恩と仇（五）

助左衛門の助太刀をして、初瀬を一刀に切つて捨てよとの御意であつたら、清之丞は直ちに劍を拔いて起つたか知れない、されど心に犬畜生より劣つた者として卑しむ女に助太刀をせよとあつては、武士の義理として承引くべき餘地が無い、清之丞は手強く反對した

『假し、奥方様の御意であつても、それはかりは平に斷はる、助左衛門は忠義の士、いかに狼狽へても忠義の骨を試すべき及は取れない小供とは云へ、少し近く仕へる身』

心は双方を遁つて居る、假し、此の首を助左衛門に授けても、恨みとは毫思はぬ、またこの手に助左衛門の首を渡しても、敵念とは思ふまい、男の交りはそこに味がある、お身達には分らぬことぢや

[illegible]

が、それほどの辨へなくて立ち行かれるか、以後を謹め』

終には頭から噛みつけた、清之丞の眼からは、采女までが狐狸の同類と見られた、彼等は前後して奥向へ入り込んで、美知姫を中心に德川家の犬となつて秘密の香を嗅がうとする佞人の群であるとのみ信じて居た、采女は念を押して

『奥方の御意でござります、それでもお背き入はござりませぬか』

『おゝさ、不肖ながら清之丞は侍從様の御直參ぢや、奥方の家來でない、後なもある事ぢや、左様心得へ』

彼は大聲で怒鳴つた、采女は黙いて目を瞬る

『お身達は、乃公と助左衛門との間に、生壁の生きた如く思ふであらうが、それは意地づく、忠義の

奥方の御意すら背かるゝといふ清之丞が、采女の諫を用ゐやう筈はない、不本意ながら最後の談判をして引き取つた

『若様、どうでござりました』

村松は門を出るとすぐ聞いた

『行かぬ／＼、清之丞殿承引みない』

『すると、若様お越し遊ばさねばなりませぬか』

『さあ、何うあらう、明日奥方様へ申し上げた上、そのお指圖を受けるつもりぢや』

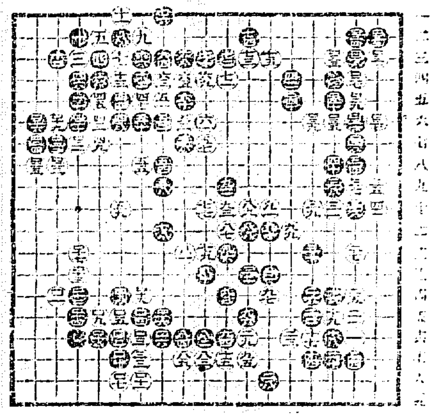
采女は目から鼻へ拔ける怜悧い智慧をもつて居たが、清之丞に向つて、白い眼を注いで居やうとは思はなかつた

『お指圖は何うあらうと、すぐお斷りなされませや、いつも申し上げる通り、お命は一つでござります、若様には大望がござります』

圍碁手合

十一番 第二局の七

山平岩氏 ／ 二子 大久保彦雅氏



新刊紹介

[illegible]

○新歌壇

[illegible]

金融は強保合 コール氣配堅し

とて兌換券は逐日増加せるが十九日銀行券は貨出前に於て一億七千三百卅一萬圓を示し前日に比し五千五百五十一萬圓となれり而して市中金利は前日に比し殆ど變化なく行餘力五百七十萬圓減少し錢七厘に保合へり而して金融市場は眼前に大節季を控へ其決濟取引を依然鈍輭たらしむるものあり外他に特別の事情なき限り二十五日頃よりは歳末決濟の[illegible]

製糸操短勵行（東京）

全國製絲業者聯合大會決議事項實行委員は[illegible]拒絶すべしとの同文電報を發し更に重ねて同一意味の書面を發送したるが今日の會合に缺席したる奥村商店は[illegible]考の上回答をなすと約して引取りたるが横濱絲綿組合にては右の件に關し同夜臨時總會を開き席上奥村氏出席し組合員間に意見交換[illegible]

登錄商標

滋養強壯 芳香美味

蛇の目印ポートワイン

（現品縮寫圖）

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血強壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を増し肉を肥し殊に誇るべきは精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養強壯飲料なり

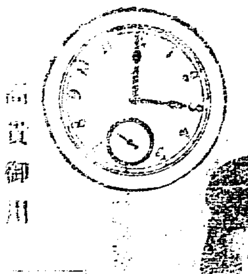
賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、罐詰、食料品店及薬舗、雑貨店にあり

【類似品あり登錄商標●蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元 洋酒 煉乳 食料品 家庭薬 罐詰 雑貨 直輸出入商 カ 松下善四郎

大阪市東區高麗橋貳丁目

電話本局 一八五 一八六 長八二〇 電信略號 マツセ 振替口座大阪 一六



高貴御用 [illegible]

Creme Lait

[illegible] with the best raw [illegible] which is quite suitable for Japanese skin and can be substituted for perfume.

荒れを留め 一分間で美顔術の出來る

クレームレート

圖完全に荒れを止める

圖手輕に出來る美顔術

圖お顔に脂肪が浮かぬ

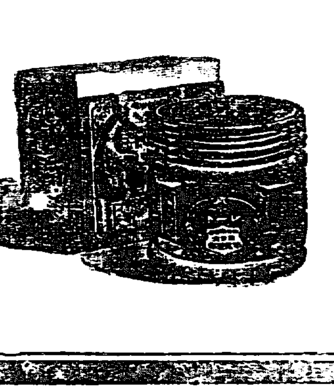
圖粉附き下に天下一品

化粧品中クレームレートは根本精分が非常に強いのですから完全にお肌の荒を止めます。

一分間美顔術の稱がある程クレームレートの成分はお肌に溶け合ひ不思議に素顔を美くしく致します。

クレームレートには少しの動物性脂肪が使つてありませんから、艶を見ひかせず、お顔に光澤が致しません。

クレームレートを用ひた上へお白粉をお附けになれば[illegible]が出來て眞に天下一品でございます。



東京 平尾賛平

釜山出帆廣告

汽船

○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 一月四日 後五時出 ／ 文神丸 十二月廿四日 後五時出

○元山、浦潮、浦鹽行 和歌浦丸 十二月廿三日 後十時出 ／ 文神丸 十二月 [illegible]

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大興丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三美辛丸 日 後六時出

門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日 後六時出

釜山港埠頭 大池回漕部

尼崎汽船 仁川出帆

木浦、釜山、下ノ關、神戸、大阪行

秀吉丸 十二月廿九日 後四時出

大有丸 十二月廿六日 後四時出

赤城丸 十二月廿六日 後四時出

君代丸 十二月廿四日 後四時出

仁川海岸通一丁目 高杉回漕部

共同汽船 仁川出帆

波南、大連行 共同丸 十二月廿七日 午前八時出帆

仁川代理店 野口商會 本町四丁目（電話一七三番）

仁川自動車發着時刻

京城自動車部 金泉支部

[illegible]

日本郵船仁川出帆

大連行、秦皇島行

相模丸 一月十日

竹島丸 一月一日

淡路丸 十二月廿九日 正午出

仁川港町 堀回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆

×神戸、大阪行 淀州丸 十二月廿六日 午五時出

木浦、釜山、嚴原、郷ノ浦、長崎行 ×安東丸 十二月廿五日 午十二時出 ／ ×安東丸 一月八日 午十二時出

鎮南浦、大連行 安東丸 一月廿一日 午十二時出

大連直航 安東丸 一月四日 正午出

元山出帆

西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 十二月廿四日 後十一時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十二月廿九日 後九時出

大連出帆

上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月卅一日 前六時出 ／ 基隆丸 一月十三日 午後四時出

内地各港出帆主要航路

南米行 毎年四回

濠洲行 毎月一回

北米行 毎月二回

孟買行 毎月一回

南洋行 毎月一回

大阪商船株式會社仁川支店